

(0500001321-0)

市 長	副 市 長	建 設 部 長	財 政 課 長	主 管 課 長	課 長 補 佐	検 査 者	設 計 者
--------	-------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------	-------------

工 種	舗装工事	工 事 番 号		設 計 年 月 日	令和 8 年 5 月 19 日
-----	------	---------	--	-----------	-----------------

工 事 箇 所	富谷市 上桜木 地内
---------	------------

路 線 ・ 河 川 名	
-------------	--

令和 8 年度
市道穀田大沢線舗装修繕工事 (1号)

富谷市

工 期	令和 年 月 日	着 工 期 日	令和 年 月 日
	令和 年 月 日	竣 工 期 限	令和 年 月 日

本 工 事 費	円 (消費税相当額 円)	工 事 価 格	円
---------	--------------	---------	---

< 概要 >

舗装工

施工延長	L = 370m	道路幅員	11.0m ~ 22.0m
舗装版切断	L = 27m		
路面切削	A = 3,930m ²		
路上路盤再生	A = 3,930m ²		
表層50mm ポリマー改質 (密粒度As (20))	A = 3,930m ²		

本 工 事 内 訳 表

07:舗装工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
道路修繕 夜間	式	1			
路上再生工 夜間	式	1			
路面切削工 夜間	式	1			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下 夜間	m	27			第1号単価表
路面切削 全面切削13cm以上 段差すりつけの撤去作業有り 夜間	m ²	3,930			第2号単価表
殻処分 As殻 L=1.0km以下 夜間	m ³	510			第3号単価表
路盤鋤取工 夜間	式	1			
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m ³ 未満 夜間	m ³	63			第4号単価表
殻処分 Co(無筋) L=1.6km以下 夜間	m ³	63			第5号単価表
路盤再生工 夜間	式	1			

本 工 事 内 訳 表

07:舗装工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
路上路盤再生工 混合深さ20cm以下 養生工無し	m2	3,930			夜間 第6号単価表
舗装工	式	1			夜間
アスファルト舗装工	式	1			夜間
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材(25) 1層当り80mm 3.0m超	m2	3,930			夜間 第7号単価表
表層(車道・路肩部) 3.0m超 50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満)アスコン	m2	3,930			夜間 第8号単価表
区画線工	式	1			
区画線工	式	1			
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 実線 15cm 夜間施工 時間的制約なし	m	960			第9号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 実線 30cm 夜間施工 時間的制約なし	m	9			第10号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 実線 45cm 夜間施工 時間的制約なし	m	33			第11号単価表

本 工 事 内 訳 表

07:舗装工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 破線 15cm 夜間施工 時間的制約なし	m	150			第12号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 セブラ 30cm 夜間施工 時間的制約なし	m	120			第13号単価表
区画線設置工(標準単価)溶融式 供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算 夜間施工 時間的制約なし	m	58			第14号単価表
仮設工 夜間	式	1			
交通管理工 夜間	式	1			
交通誘導警備員B 夜間	式	1			第15号単価表
直接工事費	式	1			
共通仮設費	式	1			
率計算分	式	1			
運搬費	式	1			第1号明細表

本 工 事 内 訳 表

07:舗装工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
現場環境改善費	式	1			
現場環境改善費(率分)	式	1			
純工事費	式	1			
現場管理費	式	1			
率計算分	式	1			
工事原価	式	1			
一般管理費等	式	1			
一般管理費	式	1			
率計算分	式	1			
契約保証費	式	1			

本 工 事 内 訳 表

07:舗装工事

費目・工種・細別等	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事価格	式	1			
消費税等相当額	式	1			
本工事費	式	1			

第1号 SPG4303010 J02		舗装版切断 1m当たり単価表			夜間	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下 IV-3-③-1	
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要	
コンクリートカッタ損料 バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級 フレート径φ56cm	供用日						
特殊作業員	夜間 人						
土木一般世話役	夜間 人						
普通作業員	夜間 人						
コンクリートカッタ(フレート) 径18インチ	枚						
ガソリン レギュラー	L						
施工パッケージ単価	m	1					
合計	m	1					
舗装版種別A = 01 アスファルト舗装版			アスファルト舗装版厚B = 01	15cm以下			

第2号		路面切削 1m2当たり単価表			夜間	全面切削13cm以上 段差すりつけの撤去作業有り			
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金額	雑	摘	要
路面切削 全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去作業無し	夜間 m2	1							第16号単価表
路面切削 全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業有り	夜間 m2	1							第17号単価表
合 計	m2	1							

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 第3号 殻処分 100m3当たり単価表 夜間 As殻 L=1.0km以下 </div>						
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
殻運搬 (路面切削) DID区間有り 運搬距離1.0km以下 夜間	m3	100				第18号単価表
建設廃棄物処理費 中間処理・再生資源化施設 仙台東 世紀東急工業(株) 仙台混合所 アスファルト塊	t	235				
合 計	m3	100				
単位当り	m3	1				

第4号 SPG2102010 J01	掘削 1m3当たり単価表			夜間	土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満 II-1-②-7	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
バックホウ(クローラ型)損料 標準型・超低騒音型・排対型(第3次基準値) 山積0.8m3(平積0.6m3)	供用日					
運転手(特殊)	夜間 人					
軽油 ハトール給油 1.2号	L					
施工パッケージ単価	m3	1				
合 計	m3	1				
土質A = 01 土砂 施工方法B = 01 オープンカット 押土の有無C = 02 無し			障害の有無D = 01 無し 施工数量E = 03	5,000m3未満		

第5号		殻処分 100m3当たり単価表			夜間	Co (無筋) L=1.6km以下
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離1.6km以下	夜間 m3	100				第19号単価表
建設廃棄物処理費 中間処理・再生資源化施設 仙台東 世紀東急工業(株) 仙台混合所 コンクリート無筋	t	235				
合 計	m3	100				
単位当り	m3	1				

第6号の1 S430500 A09		路上路盤再生工 100m2当たり単価表			夜間	混合深さ20cm以下 養生工無し IV-3-⑤-3			
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金額	雑	摘	要
土木一般世話役	夜間	人							
普通作業員	夜間	人							
添加剤 セメント系 発塵抑制型		kg	696.15						
混合用乳剤 MN-1 セメント混合リサイクル用		L	1,405.95						
スタビライザ [®] 運転 路盤再生用 深さ0.4m×幅2.0m	夜間	日							第20号単価表
モータグレーダ [®] 運転 油圧式 排出ガス対策型プレート [®] 3.1m	夜間	日							第21号単価表
ロードロー [®] 運転 マカダム 1次[低騒音含]10~12t	夜間	日							第22号単価表
タイヤロー [®] 運転(賃料) 8~20t(排対型含む)	夜間	日							第23号単価表
諸雑費		%	2						
合 計		m2	100						

第7号の1 SPG4101040 J01

上層路盤（車道・路肩部） 1m2当たり単価表

夜間

再生瀝青安定処理材(25) 1層当り80mm
3.0m超
IV-1-①-7

名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m	日									
タイヤローラ[普通型] 運転質量13～14t	日									
ロードローラ(マカダム) 運転質量10～12t	日									
普通作業員	夜間 人									
運転手(特殊)	夜間 人									
特殊作業員	夜間 人									
土木一般世話役	夜間 人									
アスファルト合材 再生AS安定処理	t									
アスファルト乳剤	L									
軽油 ハトロール給油 1.2号	L									

第7号の2 SPG4101040 J01

上層路盤（車道・路肩部） 1m2当たり単価表

夜間

再生瀝青安定処理材(25) 1層当り80mm
3.0m超
IV-1-①-7

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
施工パッケージ単価	m2	1				
合計	m2	1				
材料A = 04 再生瀝青安定処理材(40) 平均幅員B = 04 3.0m超		1層当り平均仕	上り厚(mm)(2)D = 80 瀝青材料種類I = 04			プライムコート(各種)

第8号の1 SPG4102030 A01

表層（車道・路肩部） 1m2当たり単価表

夜間

3.0m超
50mm 各種(2.30以上2.40t/m3未満)アスコン
IV-1-②-2

名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m	日					
タイヤローラ[普通型] 運転質量13～14t	日					
ロードローラ(マカダム) 運転質量10～12t	日					
普通作業員	夜間 人					
運転手(特殊)	夜間 人					
特殊作業員	夜間 人					
土木一般世話役	夜間 人					
アスファルト混合物 密粒度(20F)改質型Ⅱ	t					
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	L					
軽油 ハトロール給油 1.2号	L					

第9号 S650200 A02

区画線設置工(標準単価)溶融式 1,000m当たり単価表

供用区間 実線 15cm
夜間施工 時間的制約なし
VI-1-①-1

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
区画線設置(溶融式)夜間 豪雪無 実線15cm 制約無	m	1,000				
トラフィックペイント3種1号 ビーズ 15~18 白 溶融型	kg	390				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	25				
接着用プライマー区画線用	kg	25				
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	40				
諸雑費	%	5				
合計	m	1,000				
単位当り	m	1				
規格・仕様区分A = 01 実線 15cm 時間的制約B = 01 なし 施工区分C = 02 夜間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し			施工場所E = 01 塗料種別F = 01 塗装厚G = 02 舗装種別H = 01	供用区間 3種1号 白 1.0mm アスファルト		

第10号 S650200 J01

区画線設置工(標準単価)溶融式 1,000m当たり単価表

供用区間 実線 30cm
夜間施工 時間的制約なし
VI-1-①-1

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
区画線設置(溶融式)夜間 豪雪無 実線30cm 制約無	m	1,000				
トラフィックペイント3種1号 ビーズ 15~18 白 溶融型	kg	780				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	50				
接着用プライマー区画線用	kg	50				
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	65				
諸雑費	%	5				
合計	m	1,000				
単位当り	m	1				
規格・仕様区分A = 03 実線 30cm 時間的制約B = 01 なし			塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm			
施工区分C = 02 夜間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			舗装種別H = 01 アスファルト 費用の内訳I = 01 全ての費用			

第11号 S650200 J03 名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
区画線設置 (溶融式) 夜間 豪雪無 実線45cm 制約無	m	1,000				
トライックペイント3種1号 ビーズ 15~18 白 溶融型	kg	1,170				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	75				
接着用プライマー区画線用	kg	75				
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	73				
諸雑費	%	5				
合 計	m	1,000				
単位当り	m	1				
規格・仕様区分A = 04 実線 45cm 時間的制約B = 01 なし			塗料種別F = 01	3種1号 白		
施工区分C = 02 夜間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			塗装厚G = 02 舗装種別H = 01 費用の内訳I = 01	1.0mm アスファルト 全ての費用		

第12号 S650200 J04

区画線設置工(標準単価)溶融式 1,000m当たり単価表

供用区間 破線 15cm
夜間施工 時間的制約なし
VI-1-①-1

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
区画線設置(溶融式)夜間 豪雪無 破線15cm 制約無	m	1,000				
トラフィックペイント3種1号 ビーズ 15~18 白 溶融型	kg	390				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	25				
接着用プライマー区画線用	kg	25				
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	44				
諸雑費	%	5				
合計	m	1,000				
単位当り	m	1				
規格・仕様区分A = 05 破線 15cm 時間的制約B = 01 なし			塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm			
施工区分C = 02 夜間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			舗装種別H = 01 アスファルト 費用の内訳I = 01 全ての費用			

第13号 S650200 J05

区画線設置工(標準単価)溶融式 1,000m当たり単価表

供用区間 ゼブラ 30cm
 夜間施工 時間的制約なし
 VI-1-①-1

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
区画線設置(溶融式)夜間 豪雪無 ゼブラ30cm 制約無	m	1,000				
トラフィックペイント3種1号 ビーズ 15~18 白 溶融型	kg	780				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	50				
接着用プライマー区画線用	kg	50				
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	77				
諸雑費	%	5				
合計	m	1,000				
単位当り	m	1				
規格・仕様区分A = 11 ゼブラ 30cm 時間的制約B = 01 なし			塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm			
施工区分C = 02 夜間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間			舗装種別H = 01 アスファルト 費用の内訳I = 01 全ての費用			

第14号 S650200 J06

区画線設置工(標準単価)溶融式 1,000m当たり単価表

供用区間 矢印・記号・文字 15cm換算
夜間施工 時間的制約なし
VI-1-①-1

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
区画線設置(溶融式)夜間 豪雪無 矢印・記号・文字 制約無	m	1,200				
トラフィックペイント3種1号 ビーズ 15~18 白 溶融型	kg	468				
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	kg	30				
接着用プライマー区画線用	kg	30				
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	120				
諸雑費	%	5				
合計	m	1,000				
単位当り	m	1				
規格・仕様区分A = 13 矢印・記号・文字 15cm換算 時間的制約B = 01 なし				塗料種別F = 01 3種1号 白 塗装厚G = 02 1.0mm		
施工区分C = 02 夜間施工 排水性舗装への施工D = 01 排水性舗装の施工無し 施工場所E = 01 供用区間				舗装種別H = 01 アスファルト 費用の内訳I = 01 全ての費用		

第15号 S252602 J02

交通誘導警備員B 1式当たり単価表

夜間

II-5-21-1

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
交通誘導警備員B 夜間	人					
合計	式	1				
配置人員(人)A = 2			必要日数(日)B = 23			

第16号 SPG4301010 J03		路面切削 1m2当たり単価表			夜間	全面切削6cmを超え12cm以下 段差すりつけの撤去作業無し IV-3-①-2				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
路面切削機損料 ホイル式・廢材積込装置付・排対型(第3次基準) 切削幅2.0m×深さ23cm	供用日									
路面清掃車損料 ブレード・四輪式 ホッパー容量1.5m3	供用日									
普通作業員	夜間	人								
土木一般世話役	夜間	人								
運転手(特殊)	夜間	人								
特殊作業員	夜間	人								
軽油 ハトロール給油 1.2号	L									
施工パッケージ単価	m2	1								
合計	m2	1								
施工区分・平均切削深さA = 03 全面切削6cmを超え12cm以下				段差すりつけの撤去作業B = 01	無し					

第17号 SPG4301010 J05		路面切削 1m2当たり単価表			夜間	全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業有り IV-3-①-2				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
路面切削機損料 ホイル式・廢材積込装置付・排対型(第3次基準) 切削幅2.0m×深さ23cm	供用日									
路面清掃車損料 ブレード・四輪式 ホッパー容量1.5m3	供用日									
普通作業員	夜間	人								
土木一般世話役	夜間	人								
運転手(特殊)	夜間	人								
特殊作業員	夜間	人								
軽油 ハトロール給油 1.2号	L									
施工パッケージ単価	m2	1								
合 計	m2	1								
施工区分・平均切削深さA = 01 全面切削6cm以下(4000m2以下)				段差すりつけの撤去作業B = 02	有り					

第18号 SPG4301020 J01		殻運搬 (路面切削) 1m3当たり単価表			夜間	DID区間有り 運搬距離1.0km以下 IV-3-①-4				
名称・規格・条件	単位	数	量	単	価	金	額	雑	摘	要
ダンプトラック損料 オンロード・タイヤセル 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	供用日									
運転手(一般)	夜間 人									
軽油 ハトロール給油 1.2号	L									
施工パッケージ単価	m3	1								
合 計	m3	1								
DID区間の有無A = 02 有り						運搬距離(2)C = 03	1.0km以下			

第21号 S018000 J01

モータグレーダ 運転 1日当たり単価表

夜間

油圧式 排出ガス対策型ブレード幅3.1m

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
運転手(特殊)	夜間 人					
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	46				
モータグレーダ 損料 土工用・排出ガス対策型(第1次基準値) ブレード幅3.1m	供用日					
諸雑費	式	1				
合計	日	1				
規格A = 02 油圧式 排出ガス対策型ブレード幅3.1m 運転労務数量B = 1				燃料消費量C = 46 機械損料数量D = 1.48		

第22号 S018020 J01		ロードローリ運転 1日当たり単価表			夜間	マダム 1次[低騒音含]10~12t
名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
運転手(特殊)	夜間 人					
軽油 ハトロール給油 1.2号	L	32				
ロードローリ損料 マダム・排対型(第1次基準値)[低騒音含] 運転質量10~12t 締固め幅2.1m	供用日					
諸雑費	式	1				
合計	日	1				
規格A = 02 マダム 1次[低騒音含]10~12t 運転労務数量B = 1				燃料消費量C = 32 機械損料数量D = 1.61		

第23号 S028070 J01

タイヤローラ運転(賃料) 1日当たり単価表

夜間

8~20t(排対型含む)

名称・規格・条件	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
運転手(特殊) 夜間	人					
軽油 パトロール給油 1.2号	L	31				
タイヤローラ[普通型] 運転質量8~20t	日					
諸雑費	式	1				
合計	日	1				
規格A = 01 8~20t(排対型含む) 運転労務数量B = 1				燃料消費量C = 31 賃料数量D = 1.62		

第24号 S101010 J01		建設機械の貨物自動車等による運搬 1車・回当たり単価表			路面切削機 I-2-②-12	
名称・規格・条件	単位	数 量	単 価	金 額	雑	摘 要
基本運賃料金	台	1				
建設機械の運搬中の供用日当り損料	供用日					
合 計	車・回	1				
運搬される機械の適用区分C = 02 損料適用機械			運搬距離(km)E = 12			

積 算 情 報 表

(0500001321-0)

P. 36

項 目	内 容	項 目	内 容
積算区分	実施	週休2日の補正	0：補正しない
変更回数	当初	(週休2日) 交替制工事	なし
積算基準パターン	41:令和7年度国交省諸経費改訂(消費税10%)R7週休2日補正	一般管理費補正率	0%
施行主体名	富谷市	契約保証費率	金銭的保証
設計書名(1行目)	市道穀田大沢線舗装修繕工事(1号)	着工年月日	令和 年 月 日
設計書名(2行目)		竣工期限	令和 年 月 日
設計書名(3行目)		工期開始	令和 年 月 日
工事箇所	富谷市 上桜木 地内	工期終了	令和 年 月 日
路線・河川名		工期日数	0日
工事番号		工種名	舗装工事
設計年度	令和08年度	請負人	
設計年月日	令和08年05月19日		
単価適用日付	令和08年06月01日(92)		
単価適用地区	01 地区		
適用率(工種区分)	07 舗装工事		
間接工事費の被災地補正	3：復興係数(令和5年)		
前払金支出割合区分	35%を超える		
共通仮設費補正	市街地(D I D補正)(1)		
現場環境改善費	計上する		
現場環境改善費地域	大都市・市街地		
現場管理地域補正	市街地(D I D補正)(1)		
現場管理費率の補正(施工時期)	なし		

— 特記仕様書 —

令和8年4月1日以降公告案件から適用

施工条件明示書

工事番号	項目	工事名	内容	事務所名	備考
	1 共通仕様書の適用		本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。		
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置					
	(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」	<input type="radio"/>	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)		
	(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)	<input type="radio"/>	契約工期初日以降、〇〇日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1-1-4によること。		
	(3) 上記以外	<input checked="" type="radio"/>	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手		
上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html					
3 専任特例の適用を受ける技術者の配置					
建設業法第26条第3項ただし書の規程(以下「専任特例」という。)の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合は、下記によるものとする。 1 専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者を配置する場合、適用要件について以下の出納局契約課ホームページを参照すること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html 2 本工事の主任技術者又は監理技術者が専任特例の適用を受ける場合、落札候補者となった際に確認事項兼誓約書を提出すること。 3 本工事において、専任特例の適用を受ける主任技術者又は監理技術者の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。					
4 積算基準及び設計単価の適用期日					
	(1) 積算基準及び設計単価の適用について	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	積算基準及び設計単価は公告日の前月の基準及び単価としている。	
	(2) 工事請負契約締結後における設計単価の変更	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	本工事は、当初工事請負契約締結後において、契約日を基準日として設計単価の設計変更を行うこととする。 なお、設計変更の対象は、資材単価・労務単価及び機械単価等の全ての設計単価とする。 ただし、災害に伴う応急仮工事など緊急を要す工事において、積算月と契約月が同月となる場合など、工事請負契約締結後における設計単価の変更が必要ないと判断される場合においては、適用「なし」を選択することも可能とし、その場合は下欄にその理由を記載する。 適用「なし」の理由 (例) ・本工事は災害に伴う応急仮工事であり、積算及び契約が同月となる見込みであるため。	
5 工程関係					
	(1) 関連工事による施工時期の調整	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	(2) 施工時期による制限	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	(3) 関係機関等との協議の未成立	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
6 公害対策関係					
	(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	夜間施工	
7 安全対策関係					
	(1) 交通安全施設等の指定	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	関係機関と協議すること	仙台市ガス局
8 排水工関係					
	(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
9 建設副産物対策関係(建設発生土)					
	(1) 建設発生土の処理・処分について	本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。			
		処理・処分する場所		処理・処分方法	距離
		名称	所在地		制限時間
	(2) 建設発生土	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		時 分 ~
	処理・処分				時 分
				km	

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)																			
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について		下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分前先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または廃棄物対策課のHPを参照)。																	
		処理・処分する場所	処理・処分方法	距離	制限時間														
工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。																			
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	世紀東急工業(株)仙台混合所	富谷市上桜木2-5-1	中間処理・再生資源化施設	0.1 km	時 分 ~ 分											
		アスファルト塊	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	世紀東急工業(株)仙台混合所	富谷市上桜木2-5-1	中間処理・再生資源化施設	0.1 km	時 分 ~ 分											
		建設発生木材	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない				km	時 分 ~ 分											
		建設汚泥	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない				km	時 分 ~ 分											
		その他	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない				km	時 分 ~ 分											
(3) 再生材の利用		<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	種類・数量		再生歴育安定処理材														
11 現場環境改善																			
(1)現場環境改善費(率計上)について		<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	<p>本工事は、現場環境改善費(率計上)を計上している工事である。下表の内容のうち原則として、各計上費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1内容ずつ(ただし、いずれか1費目のみ2内容)の合計5つの内容を選択し、具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>計上費目</th> <th>実施する内容(率計上)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設備関係</td> <td>1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減</td> </tr> <tr> <td>営繕関係</td> <td>1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td> </tr> <tr> <td>安全関係</td> <td>1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報器等)</td> </tr> <tr> <td>地域連携</td> <td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(カフェ/バー/パンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献</td> </tr> </tbody> </table>							計上費目	実施する内容(率計上)	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報器等)	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(カフェ/バー/パンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
計上費目	実施する内容(率計上)																		
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減																		
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等																		
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報器等)																		
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(カフェ/バー/パンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献																		
(2) 避暑(熱中症対策)・避寒対策費について		避暑(熱中症対策)・避寒対策を実施した場合、その費用を設計変更の対象とする。(共通仮設費の現場環境改善費(積み上げ分)として計上)実施に当たっては、対策内容がわかる資料により発注者と協議すること。費用については、注文書及び請求書、またはそれに代わる書類により協議すること。ただし、設計変更の上限額は、土木部標準積算基準書により算出した現場環境改善費(率計上)の50%とする。なお、設計変更の対象となる内容は、遮光設備や大型扇風機、製水機の設置費用など現場の施設や設備に対する対策であり、空調服や経口保水液の購入費用など作業員個人に対する対策は対象外となる。																	
(3) 快適トイレの設置費について		受注者が快適トイレを設置する場合、その費用を設計変更の対象とします。(共通仮設費(営繕費)の積み上げ分として計上)実施に当たっては、「快適トイレの設置費用に係る積算基準」(事業管理課HP-各種基準)を参照すること。																	
12 品質証明																			
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	請負工事費が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事、土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。																
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象		<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない	上記に該当せず、請負工事費が1億円以上の工事、土木工事共通特記仕様書第3編1-1-9および品質証明実施要領によること。																
13 標準的な設計図書による発注方式		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第3編1-1-14によること。																
14 資材関係																			
(1) 生コンクリート		生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。																	
(2) 購入土		購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。																	
(3) 宮城県グリーン製品の利用		必須	1. 植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。																
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	2. 盛土材、埋め戻し材																
		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	3. その他()																
(4) 県内産製品の使用		<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html																
(5) 現場吹付法砕工		吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。																	
15 設計変更の手続き																			
(1) 設計変更の手続きについて		<p>設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1-1-1-14～1-1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。</p> <p>詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ > しごと・産業 > 土木・建築・不動産業 > 建設業 > 設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】</p>																	

16 その他			
(1) 舗装の下請制限について	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	土木工事共通特記仕様書第1編1-1-3によること。
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。
(3) 三者会議の対象の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1-1-5によること。
(4) 貸与資料の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者に対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。
(6) 法定外の労災保険の付保について	本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。		
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。
(8) 盛土規制法について	本工事において、盛土規制法の規制対象となる行為を行う場合は、事前に手続き方法等について発注者と協議すること。 詳細については、以下のホームページを参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kentaku/morido.html		

働き方改革・生産性向上に関する事項

項目	条件		内容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1) 「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	1. 下記①, ②, ③に該当する工事のうち、発注者が適用対象とした工事が対象となる。 ① 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な土工数量1,000m ³ 以上ある工事 ② 一定の箇所にICT建設機械で施工可能な新設する路盤数量又は切削面積3,000m ² 以上ある工事 ③ ICT土工、ICT舗装以外の工種で「ICT活用工事実施要領」(国土交通省)が定められている工種を含む工事 2. 活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 3. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係らず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。※簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型、試行型)の場合 なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。 4. 設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとし、受発注者協議により決定した技術を設計変更の対象とする。なお、受発注者協議により、活用提案を実施しないこととなった場合、「ICT施工・3次元化等の活用提案」は履行されたものとして取り扱い、履行確認を行う。
18 BIM/CIMの活用の有無			
(1) BIM/CIM活用工事の対象	<input type="radio"/> 対象	<input checked="" type="radio"/> 対象外	1.本工事は、BIM/CIM活用工事の対象工事である。実施にあたっては「BIM/CIM適用工事実施要領」に基づき行うこと。 2.BIM/CIM適用工事実施要領を適用する工事で、発注方法に総合評価落札方式の簡易型(施工計画型)、標準型(施工計画型)、標準型(技術提案型)、高度型、技術提案チャレンジ型、簡易型(施工計画型、試行型)を適用する工事は「施工計画等」や「技術提案等」(いわゆる作文)に関する評価項目において、BIM/CIMに関する提案を評価の対象外とする。
(2) BIM/CIM活用工事の発注型式	<input type="radio"/> 発注者指定型 <input type="radio"/> 受注者希望型	<input checked="" type="radio"/> 対象外	【発注者指定型】(記載例) 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与した属性情報:部材名称、部材寸法 想定する活用目的、活用内容等は以下のとおりである。 活用目的:住民説明において、3次元モデルによりわかりやすく事業計画を説明することにより、円滑かつ確実に合意形成を図ることを目的とする。 活用内容:本事業の住民説明においては、事業計画のフェーズに沿った現道切り回しの状況を説明し、工事開始後の生活上の支障等を確実に伝達する必要があることから、各フェーズにおける状況を3次元モデルにより表現する。 作成する3次元モデル:地形モデル、土工形状モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与する属性情報:部材名称、部材寸法 費用については、受発注者で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。 なお、上記以外の内容における3次元モデルの活用についても、受注者の希望により実施することが可能である。 【受注者希望型】(記載例) 前段階で作成した3次元モデルは以下のとおりである。(前段階で作成した3次元モデルが存在する場合に記載) 作成した3次元モデル:地形モデル、構造物モデル 3次元モデルの詳細度:200程度 3次元モデルに付与した属性情報:部材名称、部材寸法 BIM/CIMの活用を希望する場合は、工事受注後、監督職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。 費用については、受発注者で協議し、発注者が活用効果等を確認のうえ、計上する。
19 業務効率化			
(1) 工事情報共有システムの活用	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input type="radio"/> 対象外	本工事は、情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事・業務の情報共有システム実施要領」及び「土木工事・業務の情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2) 工事書類の簡素化の試行について	<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3) ウィークリースタンス等の推進	本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図るとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)		
20 週休2日工事の適用の有無			
(1) 週休2日工事	<input checked="" type="radio"/> 対象	<input type="radio"/> 実施困難工事	1. 週休2日対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき、行うこととする。 なお、週休2日工事の種別及び区分については、下記(2)、(3)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が建設業に適用されたことを踏まえ、週休2日の確保を目指し、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事など緊急工事の場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。 実施困難工事の理由 (例) ・応急復旧工事のため早期に工事を完成させる必要があり、週休2日の確保が困難なため
(2) 週休2日工事の種別	<input checked="" type="radio"/> 現場閉所型	<input type="radio"/> 交替制	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉鎖する。 交替制:現場閉鎖を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。
(3) 週休2日工事の区分	当初発注においては、補正係数なしで積算しており、「月単位の週休2日」、「完全週休2日」に取り組む場合は、工事着手前に受発注者間で協議の上、週休2日の区分を決定することとする。 協議により、「月単位の週休2日」又は「完全週休2日」に取り組む、達成した場合は、精算変更時に達成した区分に応じた週休2日の補正係数に変更する。		

21 女性活躍推進工事の適用の有無			
(1) 女性活躍推進工事	実施に当たっては、宮城県土木部「女性活躍推進工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。		
22 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無			
(1) 下請承認事務簡素化モデル工事	●対象	○対象外	実施に当たっては、宮城県土木部「下請承認事務簡素化モデル工事」実施要領に基づき、行うこととする。

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	<p>1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終積算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。</p> <p>営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労働管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用</p> <p>2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。</p> <p>1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 9.19% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.24%</p> <p>3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。</p> <p>4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。</p> <p>5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。</p> <p>6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。</p> <p>7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。</p>	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	●ない	<p>本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。</p>	
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある	●ない	<p>下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。</p> <p>購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。</p>	<p>受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。</p> <p>1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積り書 6 その他、必要と思われる事項</p>
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の対象工事	○ある	●ない	<p>本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)」(以下、対象地区という)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法」の対象工事である。</p>	<p>本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。</p>
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱	○ある	●ない	<p>・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。</p>	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	●ある	○ない	<p>間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。</p> <p>補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1</p>	

特記事項

1 追加事項1(積算事項)				
(1) 交通誘導員	交通誘導員Bを46人計上している。(準備工含む。)			
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				
2 追加事項2(現場条件)				
(1) 関係機関との協議	施工範囲内に仙台市ガス局所管の埋設物があることから、関係機関との調整を密に行い事故防止等に務めること。			
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				
3 追加事項3(成果品)				
(1) 電子納品	当該工事は電子納品の対象工事とする。 電子納品の対象書類については、監督員との協議により決定する。			
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				
4 追加事項4				
(1) 追加				
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				
5 追加事項5				
(1) 追加				
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				
6 追加事項6				
(1) 追加				
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				
7 追加事項7				
(1) 追加				
(2) 追加				
(3) 追加				
(4) 追加				
(5) 追加				

(別紙)

長寿命化アスファルト舗装工 特記仕様書

第1条 適用

本特記仕様書は、令和8年度 市道穀田大沢線舗装修繕工事（1号）に適用する。
舗装修繕に用いる長寿命化アスファルト舗装は、従来のポリマー改質アスファルトより高い疲労抵抗性を有する長寿命化アスファルト混合物による舗装とする。
ここに明記なき事項は、土木工事共通仕様書による。

第2条 材料

2-1 長寿命化舗装用ポリマー改質アスファルト

長寿命化アスファルト混合物に用いるポリマー改質アスファルト（以下「長寿命化舗装用ポリマー改質アスファルト」という。）は、表2-1に示す基準値を満足するプレミックスタイプのものでなければならない。

比較のためポリマー改質アスファルトⅡ型の代表性状及び基準値を併記する。

表2-1 長寿命化ポリマー改質アスファルトの基準値

試験項目		基準値	改質Ⅱ型 [参考]
針入度(25℃)	1/10mm	80以上	52(40以上)
軟化点	℃	75.0以上	58.5(56.0以上)
引火点	℃	280以上	334(260以上)
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下	0.03(0.6以下)
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上	80.8(65以上)
粗骨材のはく離面積率	%	5以下	8(-)
$G \cdot \sin \delta$ (25℃)※1	Pa	4.0×10^5 以下	16.0×10^5 (-)
※1 ダイナミックシアレオメータ(DSR)試験方法 1)試験温度:25℃, 2)平行円盤直径:8mm, 3)試料厚:1mm, 4)周波数:10rad/s, 5)ひずみ量:1%			

注) ①密度(15℃)は試験表に付記すること

②最適混合温度範囲及び最適締固め温度範囲を試験表に付記すること

③試験方法は「舗装調査・試験法便覧(日本道路協会)」に準ずる

2-2 長寿命化アスファルト混合物

長寿命化アスファルト混合物の種類は、表2-2によるものとする。

(別紙)

表 2-2 長寿命化アスファルト混合物

適用する層	混合物種	施工厚
表層	密粒度アスファルト混合物(20)	4 cm以上

(1) 混合物性状

長寿命化アスファルト混合物の性状は、表 2-3 に示す基準値を満足するものでなければならない。

表 2-3 長寿命化アスファルト混合物の基準値

試験	項目	基準値
マーシャル試験	空隙率 %	3 ~ 6
	飽和度 %	70 ~ 85
	安定度 kN	4.9 以上
	フロー値 1/100cm	20 ~ 40
	残留安定度 %	75 以上
ホイールラッキング試験	動的安定度(DS)回/mm	3,000 以上

注) マーシャル突固め回数は両面各75・50回とする

(2) 疲労抵抗性の評価

長寿命化アスファルト混合物の疲労抵抗性は、曲げ疲労試験により評価する。

試験条件は表 2-4 のとおりとし、疲労破壊回数がポリマー改質アスファルト II 型を用いた混合物と比較して100倍以上であることを技術資料等の試験結果で確認する。

表 2-4 曲げ疲労試験条件

項目	条件
載荷方法	両端固定2点載荷
供試体寸法	4×4×40 cm
スパン	30 cm
試験方法	ひずみ制御
試験温度	15 °C
載荷周波数	5 Hz
試験ひずみ	400 μ
試験槽	水冷方式
載荷波形	サイン波

試験混合物は、代表的な混合物（密粒度アスコン(13)等）で照査する。

(別紙)

(3) 等値換算係数の設定

長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数は、「舗装設計便覧(平成18年度)P81」に則り、室内試験から得られた値を評価して道路管理者が設定したものをを使用することとし、その値は表2-5のとおりとする。

工事で使用する長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数は、技術資料等で確認することとし、舗装構造の検討における等値換算係数はこの確認した値を使用することとする。

表2-5 長寿命化アスファルト混合物の等値換算係数

混合物種	等値換算係数
密粒度アスファルト混合物(20)	1.7

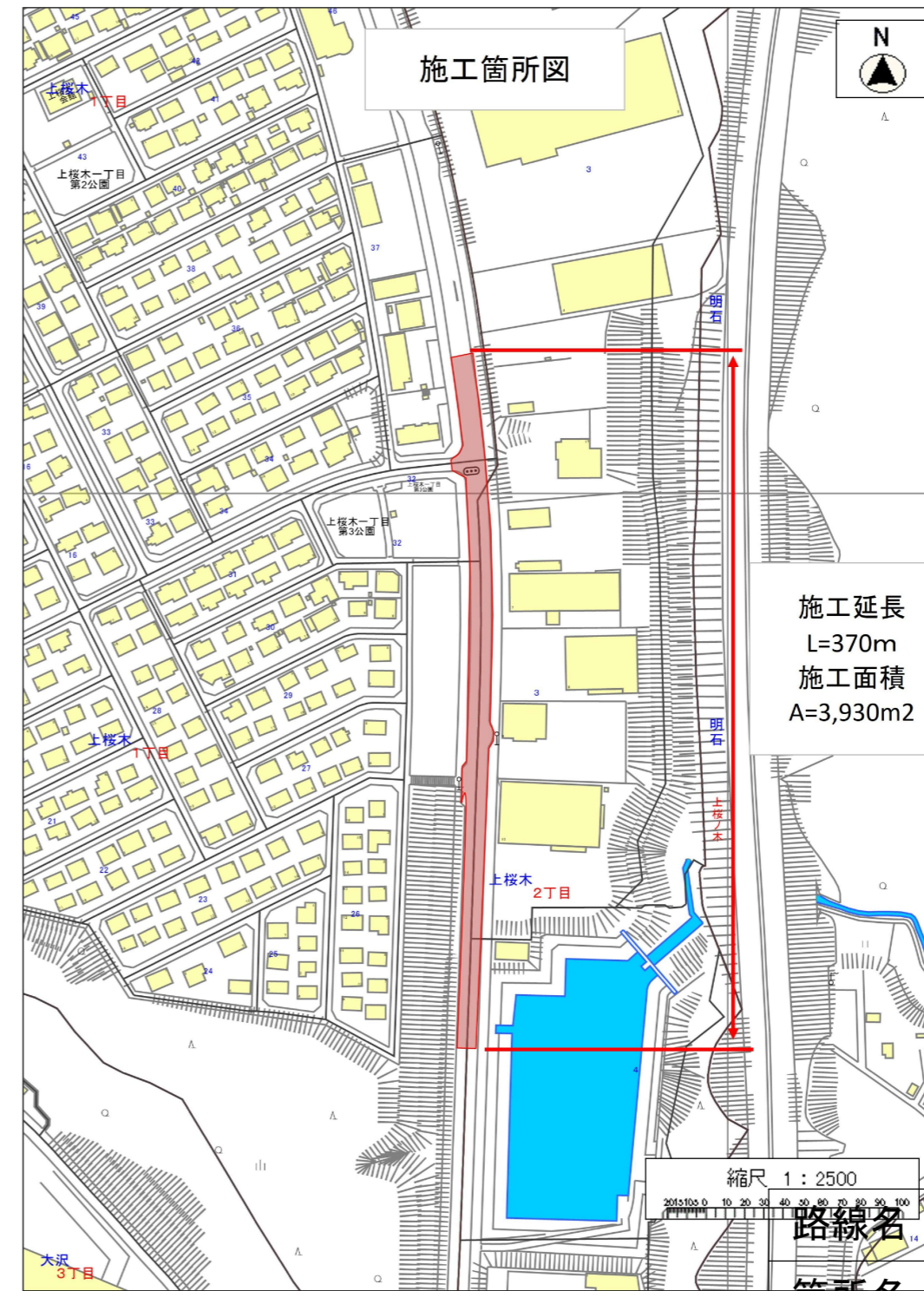
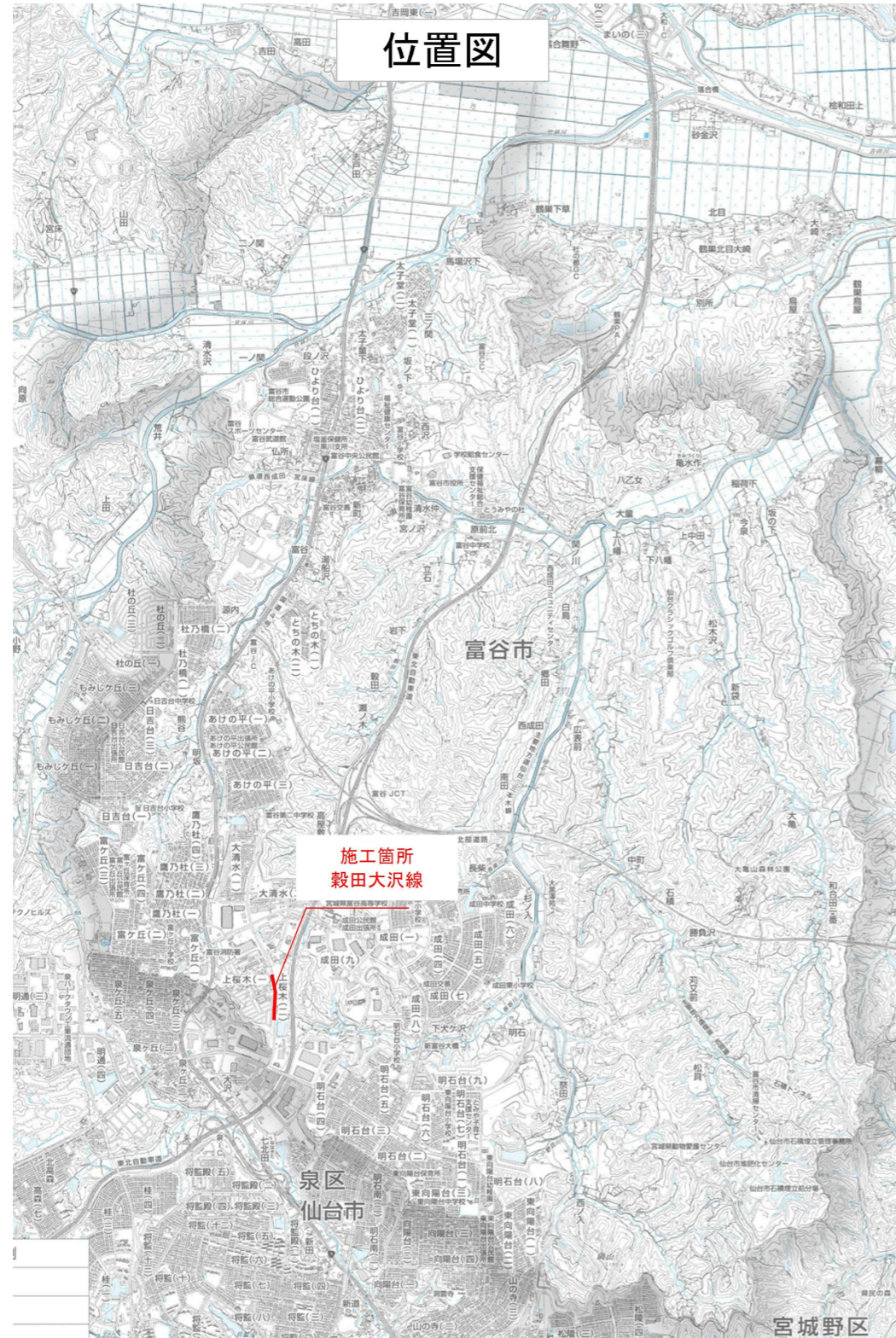
第3条 舗設

舗設は共通仕様書に準じて行うものとするが、長寿命化アスファルト混合物の敷きならし及び転圧の温度は、表3-1に示す温度を目安に行うものとする。

表3-1 長寿命化アスファルト混合物の舗設温度

施工条件	敷きならし温度	℃	160以上
	初転圧温度	℃	140以上
	二次転圧温度	℃	100以上
	仕上げ転圧温度	℃	80未満

令和8年度 市道穀田大沢線舗装修繕工事（1号）

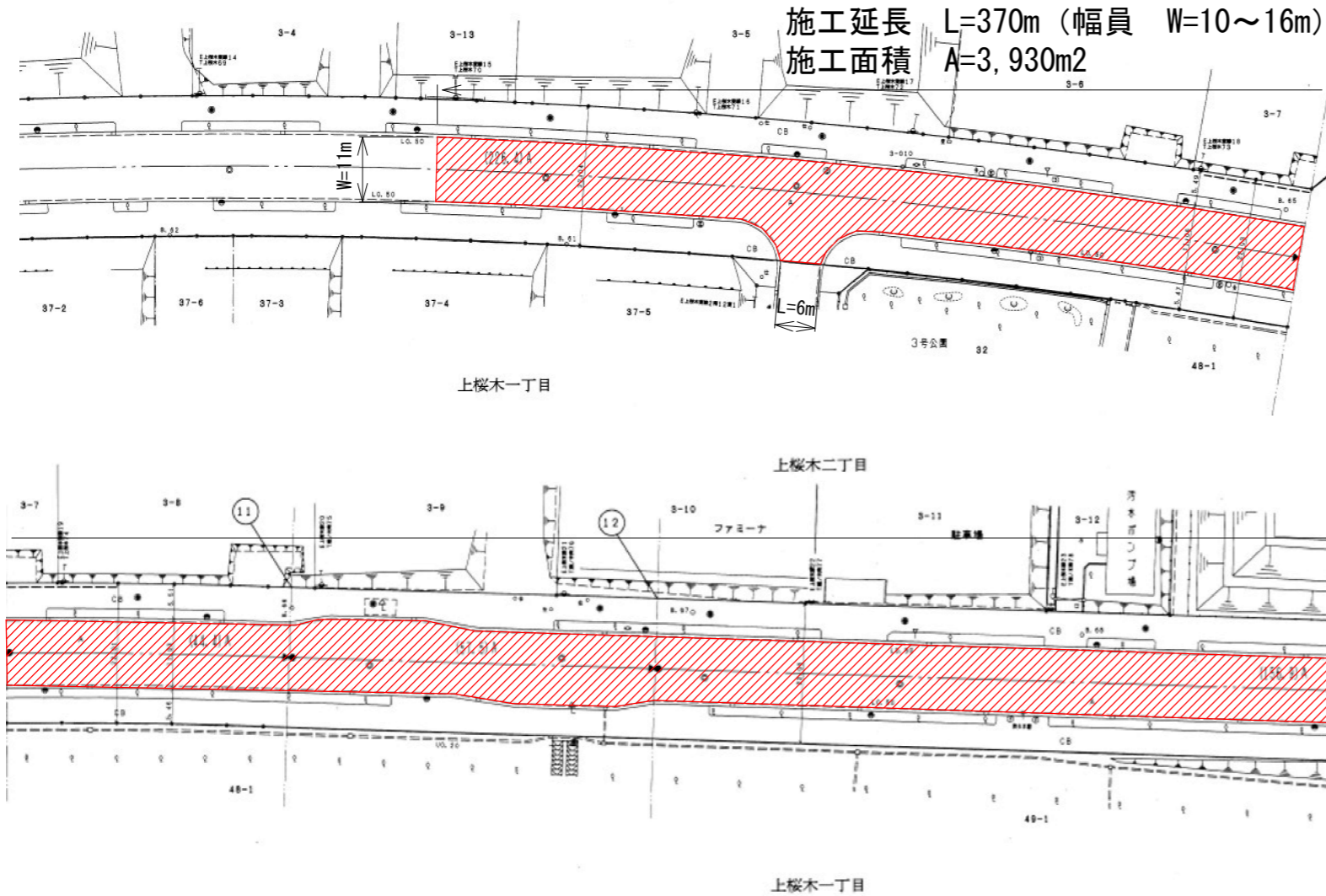


施工延長
L=370m
施工面積
A=3,930m²

路線名	市道穀田大沢線
箇所名	上桜木 地内
工事名	令和8年度 市道穀田大沢線舗装修繕工事（1号）
図名	図示
縮尺	図示

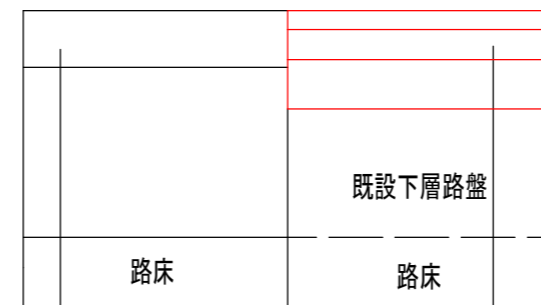
令和8年度 市道穀田大沢線舗裝修繕工事（1号）

平面図 S=1 : 500

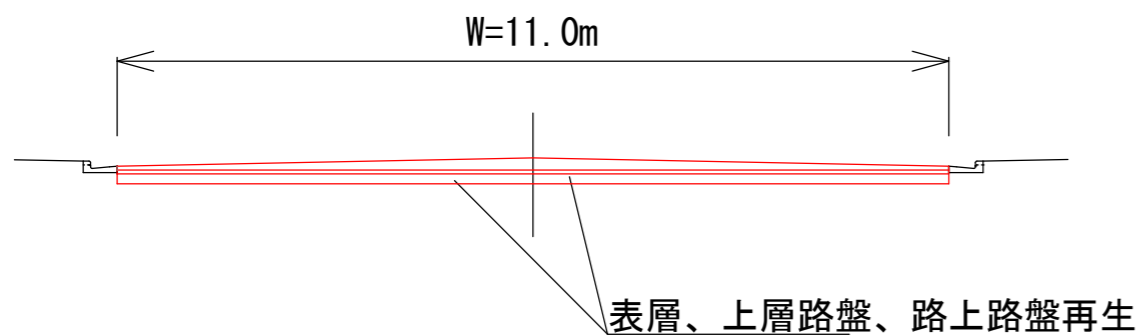


- 舗装版切断 L=27m
- 路面切削 (t=13cm) A=3,930m²
- 路上路盤再生 A=3,930m²
- 上層路盤 (再生瀝青安定処理) A=3,930m²
- 表層 (ホリマ改質Ⅱ型 密粒度As(20)) A=3,930m²
- 区画線工 N=1式

舗裝修繕断面図 S=1 : 10



標準断面図 S=1 : 50



現況TA=18.9
 表層：既設アスコン t=15cm
 下層路盤：既設路盤 t=45cm

目標TA=29
 表層：ホリマ改質 (密粒度As(20)) t=5cm
 上層路盤：再生瀝青安定処理 t=8cm
 路上路盤再生 t=13cm

路線名	市道穀田大沢線
箇所名	上桜木 地内
工事名	令和8年度 市道穀田大沢線舗裝修繕工事（1号）
図名	図示
縮尺	図示

No.	工程	上段・種別 下段・細別	単位	数量	【全体工程表】												
					7/30	8/20	9/9	9/29	10/19	11/8	11/28	12/18	1/7	1/27	2/16	3/8	
					1	21	41	61	81	101	121	141	161	181	201	221	
					8/13~8/15(3日)夏季休暇												
					12/29~1/3(6日)年末年始休暇												
1	準備工	準備工 準備工	式	1	準備工_90日												
2	路上再生工	路面切削工 舗装版切断	m	27						舗装版切断_2日							
3	路上再生工	路面切削工 路面切削	m2	3,930						路面切削_9日							
4	路上再生工	路面切削工 殺処分	m3	510						殺処分_21日							
5	路上再生工	路盤鋤取工 掘削	m3	63						掘削_2日							
6	路上再生工	路盤鋤取工 殺処分	m3	63						殺処分_5日							
7	路上再生工	路盤再生工 路上路盤再生工	m2	3,930						路上路盤再生工_15日							
8	舗装工	アスファルト舗装工 上層路盤(車道・路肩部)	m2	3,930						上層路盤(車道・路肩部)_6日							
9	舗装工	アスファルト舗装工 表層(車道・路肩部)	m2	3,930						表層(車道・路肩部)_6日							
10	区画線工	区画線工 区画線設置工(標準単価)溶融式	m	960						区画線設置工(標準単価)溶融式_3日							
11	区画線工	区画線工 区画線設置工(標準単価)溶融式	m	9						区画線設置工(標準単価)溶融式_2日							
12	区画線工	区画線工 区画線設置工(標準単価)溶融式	m	33						区画線設置工(標準単価)溶融式_2日							
13	区画線工	区画線工 区画線設置工(標準単価)溶融式	m	150						区画線設置工(標準単価)溶融式_2日							
14	区画線工	区画線工 区画線設置工(標準単価)溶融式	m	120						区画線設置工(標準単価)溶融式_2日							
15	区画線工	区画線工 区画線設置工(標準単価)溶融式	m	58						区画線設置工(標準単価)溶融式_2日							
16	仮設工	交通管理工 交通誘導警備員B	式	1													
17	後片付け工	後片付け工 後片付け工	式	1						後片付け工_20日							

「バーチャートは、土日、祝日期間を控除して表示されますが、
これらの抑制期間は雨休率に含まれていますので注意願います。」
上記工程は、積算上の工程であり実工程を制限するものではありません。